

SigmaSystemCenter 3.6 Update 1 Release Notes

Published: 2017/Sep/15, Document Edition 1.0

Welcome to SigmaSystemCenter 3.6 Update 1

Release Name
SigmaSystemCenter 3.6 Update 1
Release Date
2017/Sep/15
Internal Revision
r31613

SigmaSystemCenter はマシン、ストレージ、ネットワークの統合管理ソフトウェア製品です。主に中規模、大規模ITシステム管理者向けのIT環境の統合管理ツールであり、複雑化したITシステムを抽象化し、構成変更や管理作業を容易に実行します。

SigmaSystemCenter 3.6 Update 1 は企業がプライベートクラウドとパブリッククラウドを活用し機敏なビジネス活動をおこなうことを支援します。

SigmaSystemCenter は SystemProvisioning, DeploymentManager, SystemMonitor, ESMPROからなるスイート製品です。

About This Document

本書は、SigmaSystemCenter 3.6 Update 1 における変更点を中心に記述したリリースノートです。機能や設定の詳細については関連文書、マニュアルを参照してください。ここに記載している情報は、通知することなく変更される可能性があります。

- What's New
- 3.6 Update 1 Release Notes

What's New

SigmaSystemCenter 3.6 Update 1 は、VMware Virtual SAN を含めた、VMwareに対する強化を行いました。また、これまでに検出された問題を修正し、プライベートクラウド環境を管理する場合に必要な機能も強化および改善をおこなっています。主な変更点は以下の通りです。

- 電源制御強化
 - vCenter Server およびデータセンタを指定して仮想マシンサーバを一括で起動/シャットダウンする操作を追加しました。(#20109)
 - ESXiをシャットダウン/再起動する前に対象のESXi上で起動している仮想マシンを別の ESXiに退避できるようになりました。(#19481)
 - vCenter Server が接続できない場合は ESXi の接続することで ESXi および仮想マシンの電源操作ができるようになりました。(#20103)
 - サブシステム vCenter Server と、その vCenter Server をインストールした仮想マシンを関連付けができるようになりました。関連付けを行うことで vCenter Server をインストールした仮想マシンが配置されている ESXi のシャットダウンができるようになります。(#20141)
 - SigmaSystemCenterをインストールした仮想マシンが配置されている仮想マシンサーバのシャットダウンができるようになりました。(#20196)
- VMware管理強化
 - vSphere仮想マシンストレージポリシーに対応しました。(#17476)
 - VMware Virtual SAN Witness Applianceに対応しました。(#19997)
- プラットフォーム拡大
 - Express5800/R120h-2M, R120h-1M以降のサーバマネージメントチップのOOB管理、およびイベント監視に対応しました。(#19216, #20264, #20266)

Legal Notices

Copyright (C) NEC Corporation 2003-2017.

NEC SigmaSystemCenter, SigmaSystemCenter, MasterScope, EXPRESSCLUSTER, SIGMABLADE and ProgrammableFlow are either registered trademarks or trademarks of NEC Corporation in the United States and/or other countries.

Microsoft, Active Directory, Windows, Windows Server, Hyper-V, Microsoft Internet Explorer, and SQL Server are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

Linux is a registered trademark or trademark of Linus Torvalds in the United States and/or other countries.

Red Hat and Red Hat Enterprise Linux are registered trademarks or trademark of Red Hat, Inc. in the United States and/or other countries.

Intel, Pentium, Itanium, and Xeon are trademarks of Intel Corporation in the U.S. and other countries.

AMD is a trademark of Advanced Micro Devices, Inc.

EMC, VNX, Symmetrix, and CLARiON are registered trademarks of EMC Corporation in the United States and other countries.

VMware, ESX Server, ESXi, vSphere, vCenter Server and vMotion are registered trademarks or trademarks of VMware, Inc. in the United States and other countries.

Citrix, Citrix XenServer, and Citrix XenCenter are registered trademarks or trademarks of Citrix Systems, Inc.

Foundry Networks, FastIron, ServerIron and the 'Iron' family of marks are trademarks or registered trademarks of Foundry Networks, Inc. in the United States and other countries.

BIG-IP is a registered trademark of F5 Networks, Inc. in the United States and/or other countries.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.

Mozilla Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation.

All other brands and products used in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective trademark holders. The (R) and TM marks are not explicitly in this document.

Term & Definitions

(#xxxxx)
内部トラッキング番号

Related Information

- 製品情報:
<http://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/>
 - SigmaSystemCenter 3.6 ファーストステップガイド
 - SigmaSystemCenter 3.6 インストレーションガイド
 - SigmaSystemCenter 3.6 コンフィグレーションガイド
 - SigmaSystemCenter 3.6 リファレンスガイド
 - SigmaSystemCenter 3.6 仮想マシンサーバ(ESX/ESXi)プロビジョニングソリューションガイド
 - SigmaSystemCenter 3.6 クラスタ構築手順
 - SigmaSystemCenter 3.6 sscコマンドリファレンス
 - SigmaSystemCenter 3.6 Web API リファレンス

3.6 Update 1 Release Notes

このドキュメントでは SigmaSystemCenter 3.6 Update 1 の変更点について記述します。
SigmaSystemCenter 3.6 Update 1 は 3.6 に対する品質強化や機能強化をしたリリースです。

製品構成

SystemProvisioning

全体のオーケストレーション機能として、プロビジョニング機能やポリシー機能をつかさどります。SystemProvisioning のバージョンは 6.6 です。

SystemProvisioning のWebコンソールには <http://<管理サーバ>/Provisioning/> で接続できます。

DeploymentManager

Windows, Linuxのデプロイメント機能をつかさどります。DeploymentManager のバージョンは 6.6 から、6.61になりました。

DeploymentManager のWebコンソールには <http://<管理サーバ>/DPM/> で接続できます。

SystemMonitor 性能監視

マシン性能値の監視機能を提供します。SystemMonitor 性能監視のバージョンは 5.9 から、5.10 になりました。

ESMPRO

マシン監視管理部分をつかさどります。マネージャとしてのESMPRO/ServerManagerとエージェントとしての ServerAgent、もしくは、ServerAgentService で構成されます。各エージェントは、マシン依存部を持つため、SigmaSystemCenter の媒体には含まれていません。NEC Express5800シリーズにバンドルされています。

ESMPRO/ServerManager のバージョン は 6.16 から、6.20 になりました。

製品体系とライセンススキーム

本章は SigmaSystemCenter の製品体系とライセンス体系について記載します。

Edition

管理台数や機能により、以下のエディションを用意しています。

- Basic Edition
- Standard Edition
- Enterprise Edition

日本市場向けは日本語版、海外市場向けは英語版で構成します。

海外市場向けには、Enterprise Editionは存在せず、代わりにEnterprise Licenseを提供しています。

また、VirtualPCCenterの基盤としてVPCC Editionライセンスを定義しています。VPCC Edition の製品構成はStandard Editionと同じです。

SigmaSystemCenter 3.2 からメディアキットの提供を開始しました。メディアキットはインストール媒体のみでライセンスは含まれていません。(＃13386)

SigmaSystemCenter 3.6 からすべてのライセンスの送付を電子化しました。(＃19757)

Basic Edition

Basic Editionは追加可能なターゲットライセンス数を8台に限定したエディションです。VMホストソケットライセンスを適用する場合、8台までのマシンを管理できます。

製品構成はStandard Editionと同じで、全ての機能を使用することができます。

Standard Editionへのアップグレードが可能です。

Standard Edition

Windows / Linuxサーバ、Windows 7 / 8 / 8.1 / 10 クライアントのOSを対象とし、サーバOSは100台まで、クライアントOSは4000台までのターゲットライセンスを追加可能な中規模システム向けのEditionです。サーバ、ストレージ、ネットワーク、VMの構成制御機能を搭載。さらにサーバ統合、クライアント統合の両立が可能となります。

Standard EditionでVMの構成制御をおこなう場合は、仮想サーバ管理オプションが必要です。

Enterprise Edition

追加可能なターゲットライセンス数に制限のない大規模システム向けのエディションです。Standard Editionの機能に加え、以下の違いがあります。

- 仮想サーバ管理オプションが含まれます。
- 10台分の Network Appliance Control オプションが含まれます。
- Cisco UCSの制御管理が可能です。(＃9764)
- PFC Controlオプションが含まれます。(＃19157)

なお、海外版ではEnterprise Licenseとして提供されます。

Management Server License

各Edition製品には、一つの Management Server License が定義されます。これをBaseライセンスや本体ライセンスと呼称します。

管理サーバには一つの本体ライセンスが必要です。

管理サーバを追加するために、同じ目的のシステムで使用できる、管理サーバ追加ライセンスが定義されています。

新規インストール後60日間は、全機能を利用可能な試用版として使用することができます。(＃15613)

Enterprise License

海外版では、Enterprise Licenseが Enterprise Editionの代替として定義されています。Enterprise Licenseは管理サーバライセンスの一種です。これを入れることにより、Enterprise Edition相当の追加可能なターゲットライセンス数、オプションが有効になります。

Option License

管理サーバ毎に必要なオプションライセンスを定義しています。オプションライセンスは SigmaSystemCenter の機能を有効にするために必要なライセンスです。

仮想サーバ管理オプション

- 仮想化環境、および、パブリッククラウドの管理機能を有効にします。Enterprise Editionに同梱されています。

PFC Controlオプション

- プログラマブルフロー コントローラの管理機能を有効にします。Enterprise Editionに同梱されています。

管理サーバクラスタライセンス

- 管理サーバをクラスタ構成で運用する場合に必要なライセンスです。本ライセンス1つで、1台の待機系サーバに適用可能です。

管理対象ライセンス

管理対象マシンごとにライセンスが必要です。

ターゲットライセンス

SigmaSystemCenter 3.0以降、OSの種類ごとに分かれていたターゲットライセンスを統合しました。SigmaSystemCenter 3.0以前は、

OSの種類ごとにターゲットライセンスが必要でしたが、共通のターゲットライセンスが使用できます。これにより、WindowsからLinuxへマシンを用途変更する場合に2つのライセンスを用意する必要がありません。(＃4498)

ホストソケットライセンス

- ホストソケットライセンスはCPUのコア数に依存し、以下の4種類のライセンスがあります。SigmaSystemCenter 3.4から、"(17-32Core) ライセンス" を追加しました。(＃16039)
 - VMホストソケット (1-8Core) ライセンス
 - VMホストソケット (9-16Core) ライセンス
 - VMホストソケット (17-32Core) ライセンス
 - VMホストソケット (無制限) ライセンス
- VMを管理する場合に、VMホストソケットライセンスとターゲットライセンスを混在させた運用ができます。設定方法や使用条件について、お問い合わせください。VMホストソケットライセンスを使用する場合に全てのVMサーバにソケットライセンスを適用する必要がありました。VMと物理マシンが統合管理される場合のライセンス混在は従来どおりサポートされています。(＃12183)
- ホストソケットライセンスは、パブリッククラウド (NEC Cloud IaaS) のマシンを管理する場合にも必要となります。パブリッククラウドマシンを管理する場合には、以下のライセンスを選択してください。1ライセンスあたり、10台までのパブリッククラウドマシンを管理することが可能です。
 - VMホストソケット (9-16Core) ライセンス

その他のライセンス

- Differential CloneでVMを作成する場合、ホストソケットライセンスやターゲットライセンスを適用していても、VMの数分だけDifferential Clone オプション が必要です。
- ソフトウェアロードバランサ(LVS, NEC InterSecVM/LB)とファイアウォールアプライアンスの制御には Network Appliance Control オプション が必要です。Enterprise Edition には 10台分の使用許諾が含まれています。なお、Network Appliance Control オプション は Software Load Balancer オプション から名称が変更されたオプションです。(＃14183)

Install

必要システム構成

インストールの前に、お使いのコンピュータが必要システム構成を満たしているか確認してください。詳しくはファーストステップガイド 3章 動作環境 を参照してください。

管理サーバ

最小ハードウェア構成

CPU

Intel Compatible 2GHz 2 Core以上

メモリ容量

2GB以上

ディスク容量

22GB以上

OS

- Windows Server 2016 Standard
- Windows Server 2016 Datacenter
- Windows Server 2012 R2 Standard
- Windows Server 2012 R2 Datacenter
- Windows Server 2012 Standard
- Windows Server 2012 Datacenter
- Windows Server 2008 R2 Standard SP1
- Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1
- Windows Server 2008 R2 Datacenter SP1

必須ソフトウェア

- .NET Framework 4.6.2 または、4.7
- IIS 7.5もしくはそれ以降のバージョン
- ASP.NET 4.0、4.5、または 4.6
- 以下のいずれかのデータベースソフトウェア(バージョンは後述)
 - Microsoft SQL Server
 - PostgreSQL

アップグレード

SigmaSystemCenter 1.x からの直接のアップグレードはサポートしません。SigmaSystemCenter 1.x からは SigmaSystemCenter 3.1 Update 1 を経由したアップグレードをサポートします。

SigmaSystemCenter 2.x からアップグレードする場合、ESMPRO/SM を ESMPRO/SM Ver.4からVer.5に更新しておく必要があります。(＃17118)

Runtime Environment

.NET Framework

.NET Frameworkが SigmaSystemCenter の動作環境として使われています。SigmaSystemCenter 3.6 Update 1 は .NET 4.6.2 以降を使用しています。(＃19115, #19609, #20037, #20153, #20154, #20161)

Java JRE

Java JRE はJavaの実行環境です。JREは DeploymentManager で使用されています。

SigmaSystemCenter 3.2 から JRE の同梱を廃止しました。Linux用のOSクリアインストール用パラメータファイルの作成、ディスク複製用パラメータファイルの作成、PackageDescriber を使用したパッケージの作成をおこなう場合は、Oracle社のサイトから最新の x86版の JRE をダウンロードしてインストールしてください。(＃13958)

IIS

SigmaSystemCenter 3.6 Update 1 は IIS 7.5, 8, 8.5, 10 をサポートしています。

Database

データベースは SigmaSystemCenter が管理するIT環境の構成情報や設定を保存するために使われます。

Microsoft SQL Server 2016 SP1 Express x64 が製品にバンドルされています。(#18033, #18944)

SQL Serverを使用する場合、デフォルトのDBインスタンス名は SSCCMDB と DPMDBI です。

サポートするDBMSは以下のとおりです。

- Microsoft SQL Server 2016 SP1
- Microsoft SQL Server 2016 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2016
- Microsoft SQL Server 2016 Express
- Microsoft SQL Server 2014 SP2
- Microsoft SQL Server 2014 SP2 Express
- Microsoft SQL Server 2014 SP1
- Microsoft SQL Server 2014 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2014
- Microsoft SQL Server 2014 Express
- Microsoft SQL Server 2012 SP1
- Microsoft SQL Server 2012 SP1 Express
- Microsoft SQL Server 2012
- Microsoft SQL Server 2012 Express
- Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Edition
- Microsoft SQL Server 2008 R2
- PostgreSQL 9.5.x (64bit)

Browser

SigmaSystemCenter 3.6 Update 1 では下記のブラウザで動作確認をおこなっています。

- Microsoft Internet Explorer 11 (#19004, #14303)
- Microsoft Internet Explorer 10 (#13781)
- Mozilla Firefox 52 ESR, 54
- Microsoft Edge (#17525)

Resource Specific Information

本章は SigmaSystemCenter 3.6 Update 1 リリースでサポートされるハードウェアや基盤についての情報を記載します。

サーバ

- Express5800/R120h-2M, R120h-1M以降のサーバマネージメントチップのOOB管理、およびイベント監視に対応しました。(#19216, #20264, #20266)

一般的なシステム管理

- 運用グループでマシンを稼動するとき、Express5800/R120h-2M, R120h-1M以降のサーバマネージメントチップをESMPRO /ServerManagerのマネージメントコントローラ管理に自動登録できるようになりました。(#18909)
- イベント定義ファイルの追加・更新をコマンド(ssc config-load Target)で反映できるようになり、サービスを再起動する必要がなくなりました。(#20181)

性能監視

SigmaSystemCenter は、SystemMonitor性能監視 を使用してシステムの性能状況の監視をおこないます。SystemMonitor性能監視 は、システムの性能データを定期的に収集してリアルタイムでグラフ表示することができます。

SystemMonitor 5.10

- データベースと管理サーバのシステム使用状況をデバッグログファイルに定期的に出力するようにしました。(#18997)
- データベースからの性能データクエリの方法を改善しました。(#19677, #19896, #19905)
- 仮想マシンの性能情報収集で発生する一部のエラーのメッセージを改善しました。(#20001)
- SystemProvisioning構成反映設定のSystemProvisioning管理サーバ名の既定値を管理サーバのホスト名からlocalhostに変更しました。(#20157)
- 管理中の構成の統計情報について、パブリッククラウドマシンの数の情報を蓄積することができるようになりました。(#20170)
- VMwareのカスタム性能情報のカウンタがdatastore.free, datastore.size, datastore.usageの性能データ収集において、対象のオブジェクトの種類としてNFS, vVOLを指定できるようにしました。(#20281)
- Hyper-Vの仮想マシンサーバに対するDisk Space (MB)、Disk Space Ratio (%)の収集に失敗する場合がある問題を修正しました。(#20335)

VM管理

- 光学ドライブ管理または ssc iso mount/unmount コマンドを使用して ISO ファイルを操作すると、マシンに設定した構成パラメータが削除される問題を修正しました。(#19836)
- マスタマシン登録直後のプロファイルをリビジョンに記録するようにしました。(#20197)

VMware

- サブシステム vCenter Server と、その vCenter Server をインストールした仮想マシンを関連付けができるようになりました。関連付けを行うことで vCenter Server をインストールした仮想マシンが配置されている ESXi のシャットダウンができるようになります。(#20141)
- 構成パラメータを使用して任意の仮想マシンストレージポリシーを仮想マシンおよび仮想ディスクに適用できるようになりました。(#17476)
- ESXiをシャットダウン/再起動する前に、対象のESXi上で起動している仮想マシンのシャットダウン/退避を選択できるようになりました。(#19481)
- VMware Virtual SAN Witness Appliance をデプロイして vCenter Server に登録した ESXi は UUID/ NIC が無いマシンとして管理するようになりました。(#19997)
- Sysprep応答ファイルを使用してVM作成を行うときに適用する情報に「<」、「>」、「&」、「|」、「"」が含まれるとき情報反映ができずタイムアウトする問題を修正しました。(#20008)
- 標準仮想ポートグループの作成後に直ちに削除を実行すると標準仮想ポートグループが見つからない現象が発生する問題を修正しました。(#20021)
- VMwareイベント監視でイベント契機にデータベースを更新する処理においてエラーが発生すると、その後からデータベースの更新処理ができない問題を修正しました。(#20049)
- SSC以外を操作して実行したメンテナンスモードの設定やVM移行のタスクが1時間以上経過した場合にタスクのキャンセルを試みる問題を修正しました。(#20098)
- vCenter Server が接続できない場合は ESXi に接続することで ESXi および仮想マシンの電源操作ができるようになりました。(#20103)
- vCenter Server およびデータセンタを指定して仮想マシンサーバを一括で起動/シャットダウンする操作を追加しました。

(#20109)

- サブシステムに登録した vCenter Server のホスト名と仮想マシンのホスト名が一致する場合に自動的に仮想マシンとサブシステムを関連付けるようになりました。(#20135)
- SigmaSystemCenterをインストールした仮想マシンが配置されている仮想マシンサーバのシャットダウンができるようになりました。ただし本機能は vSphere HA/DRS と同時に使用はできません。(#20196)
- vCenter Server がインストールされた仮想マシンの停止時に vCenter Server 上で実行中のタスクの完了を待ち合わせるようになりました。また、仮想マシンの起動時に vCenter Server に接続できるまで待ち合わせるようになりました。(#20198)

Microsoft Hyper-V

- Hyper-Vクラスタの状態変更時に発生するイベント通報と連動して、SigmaSystemCenter上のクラスタの接続状態、クラスタノードの接続状態、ハードウェアステータスの表示に反映されるように強化しました。(#19628、 #20122、 #20365)
- 仮想マシンを削除した場合に、条件により、フォルダが残る問題を修正しました。(#20296)
- SSC以外で仮想マシンの操作を行い、実際の構成とSSCのDBで乖離が出た状況でSSCからの操作がエラーになる問題を改善しました。(#20259)

ネットワーク

SigmaSystemCenter は、マシンの構成変更にあわせて、マシンに接続されているネットワークデバイス(スイッチやロードバランサ)の構成を変更します。

- 同名の論理ネットワークが作成されないよう排他を行いました。(#19861)

ストレージ

SigmaSystemCenter は、マシンの構成変更に合わせて、マシンに接続されているストレージの構成を変更します。また必要な時に、LDを作成することができます。

- ディスクボリュームの最適作成において、障害プール(ハードウェアステータス故障)を除外できるようになりました。ただし、iStorage装置のみが対象となります。(#18979)

Deployment と Provisioning

DeploymentManager 6.61

- .NET Framework 4.7 に対応しました。(#20161)
- DeploymentManager PXE Managementサービスが不正なパケットを受信した場合、そのパケットを破棄するようにしました。(#20236)

UI と API

Webコンソール

- DeletePendingの時、サマリステータスの表示を「-」から「警告」に変更しました。(#19808)
- 「リビジョン詳細」画面の「メモリサイズ」の表示不正を修正しました。(#20201)
- 選択した時刻間におけるマシンステータス差分を表示できるようになりました。(#20043)
- 各イベントごとに状態履歴を集約したツリー形式の状態履歴テーブルを表示できるようになりました。(#20082)
- カレンダーの選択年を1950 ~ 2050から2000 ~ 2100に統一しました。(#19814)
- IPアドレス定義が重複したとき、重複先がアクセスできないグループの場合は重複先を表示しないようにしました。(#19263)

ssc command

- ssc portgroup update のオプションに limit, burstlimit を指定できるようになりました。(#17257)
- ssc show software に表示するソフトウェアをフィルターするオプション(-name, -type)を追加しました。(#17292)
- ssc delete software でマシンに直接割り当てたソフトウェアを解除できるようになりました。(#19931)
- ssc set profileおよびprofile createコマンドで、ディスクのshare,reservation,limitオプションを各ディスクの引数の最後に指定しないとエラーになる問題を修正しました。(#19990)
- ssc set hostprofile コマンドの -delete オプションでホストプロファイルが削除できない問題を修正しました。(#20092)
- ssc show profile でホストを指定すると稼働マシンのプロファイルが表示される問題を修正しました。(#20192)
- ssc set hostprofile -delete でグループのホストプロファイルを削除するとホスト設定のプロパティが開けない問題を修正しました。(#20233)

- ssc update vmproperty コマンドで -property オプションの指定がないときはマシンに設定済みの構成パラメータが維持されるようになりました。(#19821)
- 光学ドライブを追加してISOファイルをマウントするときにCtrl/Positionを省略できない問題を修正しました。(#20094)
- システムディスクとして予約している位置にある光学ドライブにISOをマウントできない問題を修正しました。(#20095)
- 名前がIPアドレスのマシンに対して、ssc collect machine -name が実行できない問題を解決しました。(#19269)

Installer

- SSCインストーラのPostgreSQL接続エラー発生時の表示メッセージを改善しました。(#20022)

Database

- アップグレードインストール時に、過去バージョンの構成情報DBをSSC3.6 update1の構成情報DBにコンバートします。(#20183)
- PostgreSQL環境下でユーザに個別リソース権限を付与すると、以下のビュー表示でエラーが発生する問題を解決しました。(#20356)
 - リソースビュー
 - 仮想ビュー

ライセンス

- 本体ライセンスの台数上限チェックにおいて、パブリッククラウドマシンは20台で稼働1台と計算するように変更しました。(#20353)

Copyright

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

This product contains Microsoft SQL Server Express, which is distributed by Microsoft Corporation without charge, Use these products after accepting their license agreements. For details of copyright and ownership rights, refer to the following license files: <folder where Microsoft SQL Server Express is installed>\License Terms

Some icons used in this program are based on Silk Icons released by Mark James under Creative Commons Attribution 2.5 License. Visit <http://www.famfamfam.com/lab/icons/silk/> for more details.

This product includes software developed by Routrek Networks, Inc.

Copyright (c) NEC Corporation 2003-2017. Version: 3.6-31613, SystemProvisioning 6.6.0013